

《東武博物館主催》

向島文化サロン「芝居」案内

芝居を 楽しむ！

俳優で観るか！

作品で観るか！



講師 石井啓夫

いしいけいふ
1943年、東京都出身。コラムニスト。慶應義塾大学法学部法律学科卒業。日本演劇協会会員。元産経新聞文化部記者。歌舞伎、新派、宝塚、四季、アングラまで、ことに「明日への希望、癒し」をモットーに「芝居を楽しむ」観点から新聞、雑誌などに演劇コラム、インタビューを寄稿する傍ら、愛好する宝塚歌劇の講座を朝日カルチャーセンター、毎日文化センターなどで開いている。著書に「タカラジェンヌの妖精物語」他。

あなたが芝居を観る決め手は何ですか？
映画、テレビと並んで庶民の最大の娯楽の一つである「舞台」の魅力の原点を考えます。
能―狂言―文楽―歌舞伎へと技能者たちの生のパフォーマンスとして発展してきた「舞台」は、明治時代に新派や新劇運動を起し、以降さまざまな演劇集団によるライブ活動を誕生させました。現在はミュージカル・ブームが舞台ファンを魅了しています。それらの「舞台」を観に行くきっかけは何か？
演じる俳優への応援か作品テーマへの関心なのか？
具体的な演劇集団の人気舞台を通して俳優と作品との魅力の関わりを解説しながら、「実は……！」と講師としての見解を結論付けます。

第1回 舞台鑑賞=俳優主義と作品主義

2023年6月18日(日) 午後2時~3時30分

「芝居を楽しむ」という観点で以下の視点から舞台鑑賞の魅力を語ります。
◎芝居は娯楽で演劇は芸術か？ ◎商業演劇と新劇の違い ◎新劇と小劇場演劇とアングラ芝居の違い ◎スター主義の宝塚歌劇団と作品主義の劇団四季 ◎東宝一松竹―ジャニーズ事務所など大手資本の舞台活動 ◎ミュージカルという舞台の位置付け ◎芝居では食えるが演劇では食えない(新劇俳優=アルバイト生活の実情)など。

第2回 マルチ女優 大鳥れいさんと語る

2023年7月16日(日) 午後2時~3時30分

元宝塚歌劇団花組トップ娘役として活躍し、退団後は一般舞台はもちろん劇団四季、新派、新劇でもヒロインを務めてきた大鳥さんに大小演劇集団の作品作り、演技法、そして客席の反応の違いなどをお聞きします。また、宝塚時代に演じた『エリザベト』のタイトルロールの名演についても特出して、役作りへの取り組みを伺います。

●7月16日トークショーゲスト●

大鳥れい

おおとり・れい

大阪府出身。1993年宝塚歌劇団に入団。99年『夜明けの序曲』の川上貞奴役で花組トップ娘役となる。2003年、『エリザベト』のエリザベト役で退団。その後、劇団四季の『アスペクト・オブ・ラブ』(ジュリエッタ役)、劇団新派『遊女夕霧』(夕霧役)を演じ、日本が誇る3大人気劇団、宝塚→四季→新派で主要役を演じた。他に『松平健特別公演』や新劇舞台、テレビの大河ドラマ『龍馬伝』、他、ミュージカル、コンサート、ライブと多彩に活躍している。



【場 所】東武博物館ホール

東武スカイツリーライン 東向島駅下車
※詳しくは裏面をご覧ください。

【定 員】60名(応募多数の場合は抽選)

※政府・自治体の要請等により、定員を変更する場合があります。

【参加費】無料

【応募条件】第1回・第2回の講演は2回1セットの応募
(個別の応募はできません)

【主 催】東武博物館

参加費無料

【応募方法】ハガキとインターネットによる2通りの応募が可能です。

ハガキの場合 ▶ 裏面に「講演会タイトル」を明記の上、お客様の氏名(フリガナ)、年齢、郵便番号、住所、電話番号をご記入いただき、ご郵送ください。

インターネットの場合 ▶ 東武友の会のホームページ(www.tobu-tomonokai.co.jp)にアクセスの上、「向島文化サロン」のバナーをクリック。上記同様の必要事項をご入力の上、送信してください。

【宛 先】〒171-8512 東京都豊島区西池袋1-1-25 東武友の会「向島文化サロン」T係

※一度に複数名のご応募はできません。
(複数名が記入されたハガキは無効となります。)
1回の応募で1名様のみ有効となります。

締 切 2023年5月17日(水) 必着 ※当選者には約1週間を目途に、当選ハガキ(入場券)を発送させていただきます。

【お問合せ】 東武友の会 TEL.03-5951-5248 www.tobu-tomonokai.co.jp

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演の中止や延期、テーマ内容が変更になる場合もございますので、ご了承ください。 ※ご応募いただきました方の個人情報、当選ハガキ発送以外の目的で使用することはありません。